

**2021年8月3日（火）16:45～17:45**  
**2022年3月期第1四半期 決算説明会**

**【2022年3月期 第1四半期決算公表（P0）】**

CFOの内田です。

本日は、お忙しい中ご参加頂き誠に有難うございます。

まず私から、2022年3月期第1四半期の経営成績概要及び通期業績予想についてご説明し、その後、経理部長の重田より詳細をご説明します。

当四半期の世界経済は、米国と中国を中心に持ち直しの動きが継続しました。当社の当四半期業績も、引き続き堅調な地合いを維持し、グローバルに強みを持つ各事業基盤で経済の回復を着実に取り込んでいることから、前年同期比で大幅な増益、計画対比でも高進捗を示しました。

**【経営成績サマリー（P3）】**

それでは、プレゼンテーション資料3ページをご覧ください。

当四半期の経営成績サマリーについてご説明します。

基礎営業キャッシュ・フローは前年同期比1,591億円増加の2,699億円の獲得、四半期利益は前年同期比1,287億円増益の1,913億円となりました。それぞれ本年4月に公表した事業計画に対して高い進捗率になるとともに、四半期決算として過去最高を更新しました。

価格堅調な鉄鉱石事業に加えて、自動車関連事業、グローバルな物流トレーディング事業などが業績を押し上げました。

従来、第1四半期では年間業績見通しのレビューは行っておりませんが、足元までの堅調な商品市況を反映し、金属資源及びエネルギーセグメントにおける市況前提を見直し、通期業績予想を上方修正します。基礎営業キャッシュ・フローは2,200億円増加の9,000億円、当期利益を1,800億円増加の6,400億円とします。

また、株主還元の拡充と資本効率の向上のため、500億円を上限とする自社株買いを実施することを決定しました。8月から10月までを取得期間とします。

#### 【事業計画に対する進捗率 (P4)】

4 ページをご覧ください。

ほぼ全セグメントで堅調な推移となり、当四半期の事業計画に対する進捗率は、基礎営業キャッシュ・フロー40%、四半期利益 42%となりました。

化学品、鉄鋼製品、食料で物流・トレーディング事業が堅調、生活産業では、IHH においてコロナ関連サービス増とコスト削減により回復を見せています。

#### 【強固な事業基盤の確立 (P5)】

5 ページをご覧ください。

当四半期の進捗についてご説明します。

各事業領域で、グローバルな回復需要を着実に取り込むと共に、既存事業の更なる競争力強化及び下方耐性強化に向けた施策を継続的に実行しました。

「グローバルな回復需要の取り込み」では、鉄鉱石など市況高騰による業績上振れ、旺盛なペントアップ需要の継続した自動車・商用車事業、需要の急増や様々な供給制約要因へ、機動的に対応した化学品・鉄鋼製品・食料など物流・トレーディング事業も収益貢献しました。

一方で、「収益力向上・下方耐性の強化」では、既存事業の収益向上と競争力強化の為の施策も継続的に進めました。

豪州鉄鉱石事業で **South Flank** 鉱山の操業開始や **Western Ridge** 権益取得、石油・ガス事業では **Waitsia** の融資契約締結など着実にプロジェクトを実行しました。さらに、前期同様に、最適な事業ポートフォリオの構築に向けて事業の組み替え・事業再編も継続的に進め、金属資源セグメントや化学品セグメントなどで進捗がありました。

今後もコロナ感染の再拡大の影響に注意を払い、一方ではニューノーマルの定着による経営環境の変化を意識して、良質な事業群の強化・拡大に努めてまいります。

#### 【キャッシュ・フロー・アロケーション (P6)】

6 ページをご覧ください。

当四半期のキャッシュ・フロー・アロケーションの実績についてご説明します。

キャッシュ・インは、基礎営業キャッシュ・フロー2,700 億円と、銅事業における貸付金の回収などの資産リサイクル 900 億円を合わせて、3,600 億円となり

ました。

一方、キャッシュ・アウトは、投融資 1,450 億円と、自社株買い 750 億円を合わせて、2,200 億円となりました。主な投融資案件としては、インドネシア CT Corp 持株会社の転換社債引受、開発中 LNG 案件、既存案件でのメンテナンス Capex として石油・ガス生産事業、豪州鉄鉱石・石炭事業がありました。

#### 【財務戦略・ポートフォリオ経営の進化 (P7)】

7 ページをご覧ください。

当四半期末のバランスシートについてご説明します。

21 年 3 月末と比較して、ネット有利子負債は 0.1 兆円増加し、3 兆 4,000 億円となりました。一方、株主資本は 0.2 兆円増加の 4 兆 8,000 億円となりました。この結果、ネット DER は 0.71 倍になりました。

#### 【2022 年 3 月期 通期業績予想 (修正) (P8)】

8 ページをご覧ください。

冒頭で申し上げました通り、22 年 3 月期通期業績予想は、基礎営業キャッシュ・フロー 9,000 億円、当期利益 6,400 億円に上方修正します。

金属資源・エネルギーセグメントにおいて、商品価格前提の変更などを主因に業績予想を見直しました。他セグメントは通常通り、第 2 四半期公表時に通期予想のレビューを実施します。

以上で、私からの説明を終わり、続いて経理部長の重田より、四半期業績の詳細をご説明します。

＝ 経理部長パート ＝

**【経営成績の詳細 (P9)】**

経理部長の重田です。

それでは、経営成績の詳細についてご説明します。

**【基礎営業キャッシュ・フロー：セグメント別前年同期比増減要因 (P10)】**

10 ページをご覧ください。

まず、基礎営業キャッシュ・フローの前年同期比増減について、セグメント別にご説明します。

当四半期の基礎営業キャッシュ・フローは、前年同期比 1,591 億円増加の 2,699 億円の獲得となりました。

金属資源では、豪州鉄鉱石事業における販売価格の上昇などを主因に、855 億円増加の 1,274 億円の獲得となりました。

エネルギーでは、原油・ガス価格の上昇を主因に、108 億円増加の 472 億円の獲得となりました。

機械・インフラでは、持分法関連会社からの配当金増加を主因に、251 億円増加の 380 億円の獲得となりました。

化学品では、東アジアを中心とした堅調なトレーディング事業や商品市況を主因に、88 億円増加の 245 億円の獲得となりました。

鉄鋼製品では、22 億円増加の 38 億円の獲得となりました。

生活産業では、コロンビアアジアのインド事業売却やファッション・国内流通事業の回復、堅調な食料トレーディングを主因に、130 億円増加の 166 億円の獲得となりました。

次世代・機能推進では、6 億円減少の 121 億円の獲得となりました。

その他の要因として、各セグメントに賦課しない経費・利息・税金を主因として 3 億円の獲得となりました。

【四半期利益：セグメント別前年同期比増減要因（P11）】

11 ページをご覧ください。

次に、当四半期利益の前年同期比増減についてセグメント別にご説明します。

当四半期利益は、前年同期比 1,287 億円増益の 1,913 億円となりました。

金属資源では、豪州鉄鉱石事業やチリ銅事業における販売価格の上昇や Vale からの配当金増加などを背景に、868 億円増益の 1,190 億円の利益となりました。

エネルギーでは、LNG・石油トレーディング関連の収益減少を主因に、47 億円減益の 12 億円の損失となりました。

機械・インフラでは、北米を中心とした自動車・商用車事業の好調を主因に、107 億円増益の 292 億円の利益となりました。

化学品では、東アジアを中心とした堅調なトレーディング事業や商品市況を主因に、96 億円増益の 159 億円の利益となりました。

鉄鋼製品では、堅調な鋼材市況による鋼材加工事業やトレーディング事業の堅調を主因に、80 億円増益の 67 億円の利益となりました。

生活産業では、病院・ヘルスケア事業や WILSEY FOODS の増益などを主因に、195 億円増益の 139 億円の利益となりました。

次世代・機能推進では、1 億円減益の 104 億円の利益となりました。

その他の要因として、各セグメントに賦課しない経費・利息・税金などの負担により 26 億円の損失となりました。

【四半期利益：要素別前年同期比増減要因（P12）】

12 ページをご覧ください。

ここでは、当四半期利益を前年同期と比較し、その増減を要素別にまとめています。

「基礎収益力」は、Vale や豪州鉄鉱石事業からの配当金増加、機械・インフラ、生活産業、化学品など複数のセグメントが業績を牽引し約 650 億円の増益となりました。

「資源コスト・数量」は、豪州鉄鉱石事業における悪天候の影響などがあり、数量面で約 30 億円の減益となりました。

「資産リサイクル」は、前年同期における北米発電事業の売却益の反動を主因に約 30 億円の減益となりました。

「市況・為替」は、堅調な鉄鉱石価格で約 480 億円、原油・ガス価格で約 50 億円の増益となりました。為替は、豪ドルの対米ドル高を主因として約 10 億円の減益となりました。

「評価性/特殊要因」は、前年同期におけるモザンビーク石炭事業の減損の反動を主因に約 90 億円の増益となりました。

以上をもちまして、私の説明を終わります。